

「ご褒美時間♪」(上岡)

2021年も残りわずかになりました。今年も新型コロナウイルスに振り回され、ただ粛々と日常を送る毎日…色々な制限や自粛でパーっと楽しむ機会を持つことが難しい一年でした。ですが、ここ数カ月の感染者数の減少や宣言解除から、みなさんそれぞれのお楽しみの時間を、少しずつ過ごせるようになってきたのではないのでしょうか。私も最近、行けないことも覚悟でチケットを取っていたコンサートへ行くことができました！もちろん会場では感染拡大防止ガイドラインがあり、収容人数制限、密の回避、電子チケット、エリアごとの規制退場、声援の禁止などたくさんの規制はありましたが、それでも生の音楽に触れて、今年最大のご褒美の2時間半でした♪まだまだ以前のような日常に戻ることは難しそうですが、そんな中でそれぞれの可能な範囲でのお楽しみの時間を持って、心のエネルギーを蓄えて過ごしていきたいですね^^



今さら聞けない 経済用語

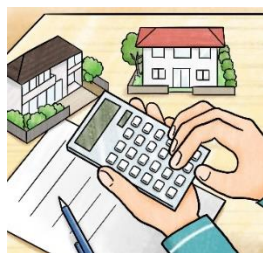
今月の教えてキーワード：【アセットライト経営】

資産（アセット）を軽く（ライト）する、資産保有を必要最小限にする経営のこと。「航空会社が飛行機を保有せずリースを利用する」「ホテル産業におけるホテルの建物や物流業に使う倉庫などの不動産を外部化する」などが挙げられる。減価償却費などの固定費の減少や、劣化等によるリスクを抱えずに済むメリットがあり、新型コロナウイルスの影響で資産を収益につなげられず業績が悪化した企業改革のキーワードとなっている。

知っとこ！「税務のマメ知識」

【不動産の価格について】

市場で取り引きされている不動産の価格を「実勢価格」といいますが、この他にも「公示価格」「基準地価」「路線価」などがあります。これらの価格は公的機関が発表している土地の値段です。公示価格は国土交通省、基準地価は各都道府県、路線価は国税庁から公表されます。国税庁の路線価は、毎年7月1日に最新年分が公表されます。2021年分においては8都市で上昇、17都市で横ばい、22都市で下落しました。全国で一番高い路線価は1986年から36年連続で東京都中央区銀座5丁目銀座中央通りで、今回も1平方メートルあたり4272万円と高額でしたが、それでも前年に比べると減少しているようです。コロナ禍の影響で外国人観光客などが激減し、飲食店や各種物販店舗などの収益性が低下したことが主な原因と思われます。このように昨今の世界情勢は土地の価格にも少なからず影響を



及ぼしているのです。実際の土地の売買は、売り手と買い手の間で合意した価格により取り引きされますが、その価格の大体の目安を他の価格から算出することもできます。一般的に実勢価格は公示価格の1.1～1.2倍が目安といわれており、路線価は公示価格の80%くらいの価値水準となるように設定されています。これらの価格が分かれば自分が所有する土地の大体の実勢価格を知る参考となりますね。

今を生きる
先人の言葉

夢見ることができれば
それは実現できる

ミッキーマウスの生みの親でもあるウォルト・ディズニーの言葉。夢にまで見るほど心の底から強く信じ、ずっと願っていれば、それはきっと実現するだろう。